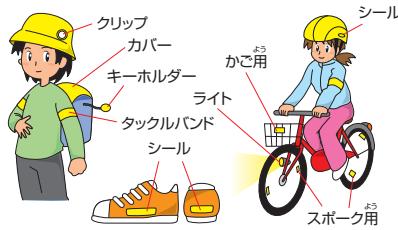


夜は目立つ工夫をしましょう

暗くなると歩行者や自転車は、車の運転者からとても見えにくくなります。明るい色の服を着たり、ライトや反射材等を使って自分の存在を車の運転者に早く知らせて交通事故を防ぎましょう。



保護者の皆様へ



自転車安全利用五則 自転車は「軽車両」車の仲間です ルールを守りましょう

…ながら運転は危険!

- 携帯電話等を使用しながら…
- 大音量で音楽等を聴きながら…
- かさをさしながら…

交通事故につながる
おそれがあります。

自転車利用者の 自転車損害賠償責任保険への加入義務化

- 自転車事故で加害者になったら高額賠償の責任を負うこと
- <高額賠償事例>
賠償額 9,521万円
- 男子小学生(11歳)が夜間、自転車で帰宅途中に、歩行中の女性(62歳)と正面衝突。女性は頭蓋骨骨折等で意識が戻らず、監督責任を問われた母親に賠償命令。

大阪府
自転車条例

自転車保険の加入が 義務化されています

自転車事故を補償する保険に加入しましょう

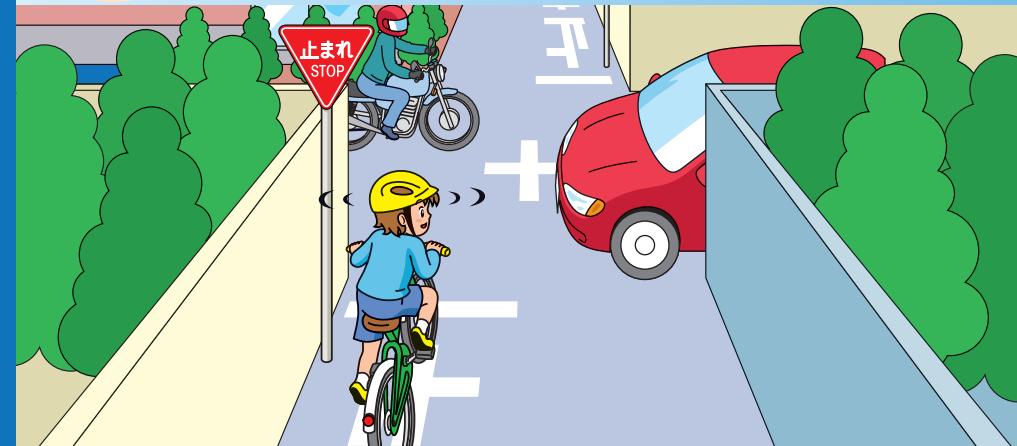
- ◆自転車安全整備店で点検・整備を受けると「TSマーク」を貼ってもらえます。
 - ◆「TSマーク」には、点検日から1年間有効な賠償責任・傷害保険がついています。
- (詳しくはお近くの自転車安全整備店で)

1年に1度は、自転車安全整備店で点検・整備を受けましょう

こう つう あん せん

交通安全テキスト

3 小学生～自転車～



自転車の点検をしましょう!



ルールくん この合言葉は点検箇所の頭文字を並べています。

ハンドル ●ハンドルは前輪と直角にしっかり固定されているか確かめましょう。

サドル ●サドルは両足先が地面につくよう高さを調節しましょう。

ベル ●鳴るか確かめましょう。ベルは危険を知らせるものです。むやみに鳴らさないようにしましょう。

じてんしゃ の 表え からな てんけん 自転車に乗る前は必ず点検をしましょう。点検でおもしろいと思ったら自転車店で修理してもらいましょう。

ライト ●ライトが明るくつかかれてるか確かめましょう。

ブレーキ ●左右両方ともよくきいているか、確かめましょう。

- 右ブレーキは前のタイヤ
- 左ブレーキは後のタイヤ

タイヤ ●タイヤの空気はしっかりと入っているか、すり減っていないか確かめましょう。

交通安全情報発信中!

LINE・YouTube で交通安全に関する情報を発信しています。QRコードを読み込んで、是非登録してください。

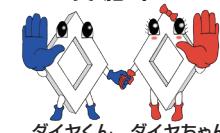


LINE



YouTube

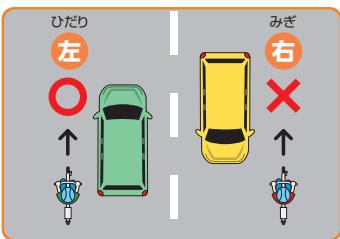
横断歩道ハンドサイン運動 実施中!!



どうろ 道路のどこを通ればよいのでしょうか?

じてんしゃ 自転車は左側通行

じてんしゃ
自転車は「車の仲間」です。道路の「左端」を通りましょう。



ほどう 歩道を通ることができます



ひょうしき の標識がある場合

じてんしゃ
自転車で歩道を通ることができます。



ひょうしき の標識がない場合

しょうがくせい
「小学生(13歳未満の子供)」は自転車で
歩道を通ることができます。

ほどう 歩道は歩行者優先です

- ・いつでも止まれるスピードで
車道寄りを通行しましょう。
- ・歩行者の通行を妨げるような
ときは一時停止しましょう。



どうろ 道路はどのようにして渡ればよいのでしょうか?

じてんしゃおうだんたい 自転車横断帯のあるところ

じてんしゃおうだんたい
自転車横断帯があるところは、
じてんしゃおうだんたい
自転車横断帯を
とおりましょう。



じてんしゃおうだんたい
自転車横断帯



おうだんほどう 横断歩道のあるところ

おうだんほどう
横断歩道は歩行者が通る場所です。
ほこうしゃ
歩行者の通行の妨げになるときは、
じてんしゃ
自転車から降りて
わたり
渡りましょう。



しんごう 信号を守りましょう

こんなときは 渡っちゃダメ!



このようない交通事故に注意しましょう!

させつしゃ 左折車による巻き込み事故

あおしんごう
青信号でも「車の運転者は自分に気付いていないかも
しれない」と思って交差点手前で必ず止まり、車が曲が
ってこないか周りの安全確認をしてから渡りましょう。



いちじていし 一時停止場所でのとび出し事故

くるま
車はすぐに止まることができません。「止まれ」の
ひょうしき
標識のある所や見通しの悪い交差点では必ず
とく
止まって安全確認をしましょう。



くるま 車の動きに注意しましょう!

しき 死角

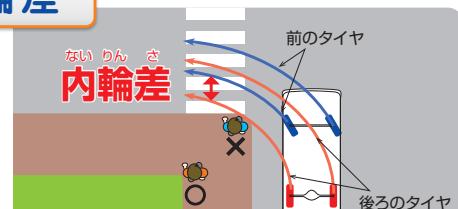
くるま
車には運転者から見えないところ(死角)があります。

くるま
「車の運転者から自分の姿が
み
見えないかもしれない」
おも
と思い、周りの車の動きに
ちうい
注意して行動しましょう。



ないりんさ 内輪差

くるま
車が曲がるとき、後のタイヤは前のタイヤより内側を通ります。



しんごう
信号を待つ時は、
おうだんほどう
横断歩道からはなれたところなど
ま
安全なところで待ちましょう。